

# 令和元年度（2019年度）第1回 熊本市社会教育委員会議

## 会議録

【開催日時】 令和元年（2019年）8月20日（火）14:00～16:00

【開催場所】 熊本市教育センター 第2研修室

### 【出席者】

#### ■ 社会教育委員

小澤 雄二 委員  
諏訪園 勉 委員  
山川 李好子 委員  
加藤 貴司 委員  
小澄 直 委員  
高木 徳文 委員  
吉村 圭四郎 委員  
橋口 健二 委員  
田中 洋子 委員

#### ■ 事務局

- ・ 市民局市民生活部長 白石 義晴
- ・ 教育政策課長 福島 慎一
- ・ 青少年教育課長 水町 美延
- ・ 金峰山少年自然の家所長 伊藤 未治
- ・ 熊本市立図書館長 坂本 三智雄
- ・ 熊本博物館教育審議員 平山 眞理子
- ・ 生涯学習課長 渡部 秀和
- ・ 文化振興課課長 林 将孝
  
- ・ 松本主幹兼主査（生涯学習課）
- ・ 松原参事（生涯学習課）
- ・ 増田主事（生涯学習課）

以上 11 人

### 【会議資料】

- ・ 【報告（1）】 熊本市生涯学習指針について
- ・ 【報告（2）】 埋蔵文化財発掘調査中の事故について
- ・ 【報告（3）】 熊本市図書館事業統計（H30実績）について
- ・ 【報告（4）】 図書館サービス向上対策について
- ・ 【報告（5）】 金峰山少年自然の家受入中止について
- ・ 【報告（6）】 長野市教育委員会の視察（公設公民館のあり方検討）について
- ・ 【報告（7）】 特別企画展 世界の昆虫について
- ・ 【報告（8）】 追憶の熊本～画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶～について
- ・ 参考資料（関係法令）

発言者	発言要旨
	<b>【開会】</b>
白石市民生活部長	<b>【あいさつ】</b>
<b>【報告 (1)】</b> 生涯学習課長	熊本市生涯学習指針について
	質問・意見無し
<b>【報告 (2)】</b> 文化振興課長	埋蔵文化財発掘調査中の事故について
	質問・意見無し
<b>【報告 (3)】</b> 図書館長	熊本市図書館事業統計（H30実績）について
委員	図書館にどういった本があるか確認できるような機械はありますか。
図書館長	館内 OPAC という、どういう本がほしいか簡単に検索できる機械があります。図書館のホームページからでも検索ができます。 図書館のカウンターにいる職員は全て司書の資格を持っているので、題名等が分からなくても「このような本が欲しい、こんなことを調べたい」と伝えていただくと検索をお手伝いできる仕組みになっています。
委員	若い方の図書館の利用が少ないとあるが、どのように分析をしていますか。
図書館長	19～29歳の利用が減っているのは、印刷の本から離れていっており、電子書籍をはじめインターネットで本を読む方が多いのではないかと考えています。
<b>【報告 (4)】</b> 図書館長	図書サービス向上対策について
委員	電子書籍の取り組みは全国に先駆けた素晴らしい取り組みでありよかったと思っています。10代20代の本離れに電子書籍は大きな波を起こすのではないかと期待をしています。 蔵書計画について、私たちは本屋に並んでるような新しい本を先に読みたい、できるだけ早く読みたいと思っていますが、どういう本から入れていくのか、新しい本から入れる計画なのか教えてください。
図書館長	どのような本を入れるかということについて、ターゲットは若い世代と考えていますが、初年度なのでたくさんの人にこういうサービスを知ってほしいという思いがあります。最初は幅広い年代にお使いいただけるように目配りをして導入したいので、幼児向けの本から文学作品までいろいろ揃えてみたいと考えています。 新しい本をとということですが、私たちも皆さんに喜んでいただけるような本をそろえたいと考えておりますが、紙の本が電子書籍になるにはタイムラグ等があるので、中身をよく見ながら選んでいきたいと考えています。
委員	サービスに関しての発信の仕方について、ホームページのみでの発信になるのか、どういう風に若い人たちが情報を得ることができるのか教えてください。
図書館長	これからサービスを開始する11月に向かってPRをしっかりとやっていきたいと考えています。ホームページでの周知はもちろん、市政だよりも掲載を行います。また記者発表を行い、市政記者に説明する機会を設けられたらとも考えています。
委員	電子書籍の貸出サービスは、専用のサイトを作って行うということでしょうか。

発言者	発言要旨
図書館長	図書館のホームページの中にもう一つ新しい別のサイトを設けるような形で電子書籍の貸し出しコーナーを作ろうと準備を行っています。
委員	<p>電子書籍貸し出しサービスの告知の方法について、例えば若い世代に浸透させようと思うのなら熊本市のLINEアカウントの登録者を広め、そこから市のホームページ等にジャンプするような形にするなど工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>また図書館のスマートフォン用のサイトが文字の羅列になっており、パソコン用サイトと比べて少し見にくい気がします。これでは若い世代に浸透させるのは難しいのではないかと思います。電子書籍の貸し出しはすごく良い取り組みだと思いますので、これに伴い新しいウェブページ等を作るのであれば改善する工夫も必要ではないかと思えます。よろしければご検討いただければと思います。</p>
図書館長	<p>LINEを活用したPRにつきまして良いアドバイスをいただきました。ぜひ取り組んでみたいと思います。</p> <p>スマートフォン用のサイトについては確かに画面が見やすくないと認識しております。新しいホームページも出来上がりつつありますが、もう一度利用者の立場からチェックを行い、改善できる点は改善していきたいと思えます。</p>
委員	<p>13～15歳の図書館利用が少ないというデータがありますが、中学校の立場から言うと、これは各学校に図書室があるためであり、そこで生徒は本を読んでいるので、図書館に行かなくても図書室で生徒の読書は賄えています。</p> <p>将来的なことを考えると、学校に導入されるタブレットが生徒1人に1台となれば、読書の時間などにタブレットを使い電子書籍を借りて読むことになるなど、電子書籍貸し出しサービスの利用が増えていくのではないかと思います。</p>
図書館長	<p>子どもたちがタブレットを使ってたくさんの図書館の本を読んでもくれるようになればありがたい、そうなってほしいと思っています。</p> <p>しかし一つ問題がありまして、一つのコンテンツを同時に複数人が利用できる契約にはなっておらず、あくまでも実際の本と同じように一つのコンテンツを一人が利用し、終わったらまた次の人へ、という形になっています。クラスで使おうと思ったら1冊の本を数十冊買わなければならないといった問題もあります。</p> <p>現在仲介業者と交渉しており、期間を限定して同時に数十冊借りることが出来る等、別の形態での契約を考慮してもらえないか投げかけを行うなど利用形態について検討を行っているところです。</p>
委員	デジタルアーカイブはダウンロード可能でしょうか。
図書館長	PDF化して提供を行うので可能になるかと思えます。
委員	県立図書館になくて市立図書館にしかない貴重な文献があるが、著作権が切れているものが多いので調査して公開していただければと思います。(要望)
<b>【報告(5)】</b> 金峰山少年自然の家所長	<b>金峰山少年自然の家受入中止について</b>
委員	「幅広い見地(資料5下部)」とは見通しとして「大規模改修、建て替え、廃止」のいずれを指すでしょうか。自然の家は自然体験の出来る貴重な施設ですが、廃止となるのでしょうか。施設を残すのであれば確たる説得材料を持って進めないと、逼迫した財政状況の中、施設が廃止になりはしないかと危惧しています。現時点での見通しを教えてください。

発言者	発言要旨
金峰山少年自然の家所長	<p>現在、野外教育活動施設における自然体験の必要性等を検討しているところです。庁内検討会とは別に学識経験者、関係団体等に集まっていたり、施設の必要性や存続方法等について意見を頂きながら市としての考えをまとめ、熊本市において金峰山少年自然の家という野外活動施設が必要であるという点を整理し、各方面に十分な説明を行っていきたいと考えています。</p>
委員	<p>金峰山少年自然の家は築 40 年程であり、老朽化している実感があつたものの、子どもたちにとって自然を学ぶという点で施設が金峰山にあるというのは大きな意義があることでした。熊本市にとって子どもたちが自然を学ぶ場所がなくなるというのは大きな痛手と感じています。ぜひ熊本市の資源としてその場所に存続してもらえるようお願いします。</p>
金峰山少年自然の家所長	<p>金峰山は市民から親しまれている山であり、近隣には五百羅漢など歴史に関わる部分もありますので、ぜひ存続・再建の方向で努力していきたいと考えています。</p>
委員	<p>金峰山少年自然の家で集団宿泊を予定していた市立小学校の受け入れ先の調整についてかなり苦労されていることと思いますが、受け入れ先では日程が短縮となったり、また遠方施設での受け入れはバス代等の費用がかかるなどするため、5年生の時に2泊3日できちんと研修ができる施設が市内に必要だと感じています。</p>
金峰山少年自然の家所長	<p>今回急な変更に伴い、日程を1泊2日に短縮して実施した学校が29校ありました。ご指摘のとおり天草や阿蘇で実施すると、プログラムの縮小等、その期間に必要な活動ができないということもありますので、金峰山少年自然の家が存続できる形で取り組んでいきたいと思ひます。</p>
【報告(6)】 生涯学習課	<p>長野市教育委員会の視察（公設公民館のあり方検討）について</p>
委員	<p>長野市の現行の公民館で対応できないニーズについて、いくつか公民館の条例を改正すればできるようなものもあるようですし、また社会教育施設から外すのであれば文科省からの補助金の返還等の話が出てくると思ひます。そういったことも含め公民館のあり方について検討してほしいと思ひます。</p> <p>また熊本市の公設公民館は生涯学習に関する事業だけ実施している訳ではないですし、長野市では放課後の学習の場として利用できない状況があつたようですが、熊本市では取り組んでいたことがあるのではないのでしょうか。中央区の公設公民館は利用頻度が高く会場が空いていないことがあるものの、努力の結果こういった取り組みもやり方によってはできており、単純に長野市ができなかったことが熊本市にそのまま当てはまる訳ではないので、そういった部分も検討しながら、できるだけ公民館を利用してもらえるようにした方がいいと思ひます。</p> <p>熊本市の公設公民館は十分に利用があるとは思ひますが、利用が少ない公民館も確かにあり全体を同じレベルで考えるとメリットデメリットがあると思ひるので、いろんな立場から検討し公民館の有効活用ができればと考えています。</p>

発言者	発言要旨
生涯学習課長	<p>ご指摘がありました通り、まずは市長マニフェストの中の利用の自由度を上げるという点を着眼点にして、どういうやり方があるのかという例の一つとして長野市を報告させていただいたところです。長野市と熊本市の環境がイコールであるとは思っておりません。公民館も利用度が高いところ低いところがございますので、そういったことを踏まえトータルで自由度を上げるためにはどういった方法が一番良いのか模索していく必要があると考えています。</p> <p>また公設公民館の他に同じような施設として地域コミュニティセンター、あるいは地域公民館もございます。これらの施設の兼合い等も踏まえながら今後公設公民館のあり方について検討して参りたいと思っております。また皆さま方にいろんな角度からご意見をいただけるようにご報告をさせていただきます。</p>
<b>【報告 (7)】</b> 熊本博物館 教育審議員	<p><b>特別企画展 世界の昆虫について</b></p> <p>企画展は TKU と共同で開催しており、入場者は 1 万人を突破しました。博物館が 5 年 5 か月ぶりにリニューアルオープンしたもので、博物館そのものを知らない子どもたちが非常に多い実情があります。今年はとにかく博物館を PR しようということでこのような企画にも取り組んでいるところです。</p> <p>博物館は未就学児からすべての世代に来ていただきたいということでこれからいろいろな展示を行っていくところですが、取組としては夏休みということもあり子どもを取り込むということで、このような展覧会を行っているところです。</p>
	質問・意見無し
<b>【報告 (8)】</b> 熊本博物館 教育審議員	<p><b>追憶の熊本 ～画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶～ について</b></p>
委員	<p>世界の昆虫展のチラシについて、今までにない、とても惹きつけるものがあると感じています。美術館との連携で優待券を入れてあるところなど大変良いと思いました。追憶の熊本でも是非チラシの方に力を入れていただけたらと感じました。</p> <p>先日県立美術館の館長と話をした際に、それぞれの施設が単独で催し物を開催するだけではお客様を動員するのはとても難しいという話をされていまして。博物館や熊本城と一緒にあって同じ時期に足並みをそろえてお客さまが歩いて回れるような観光ができるようにということもおっしゃっていて、こういう風に優待券があったりすることで、互いに win-win の形になっていくので良いのではないかと思います。</p>
熊本博物館 教育審議員	<p>実は今年から県立美術館の館長に宮尾前熊本県教育長が就任なさいまして、何度も美術館に通いこういう共同企画ができないものか現在模索しているところです。博物館から県立美術館までは徒歩 5 分しかかからないため、お互い行き来してリレーミュージアムトークや、博物館が久しぶりのオープンということで小中学生の皆さんにも来ていただきたいということで館内プログラムを実施したり、また派遣授業に行ったりということも考えております。市民の方を含めてますます来ていただけるような工夫を重ねていきたいと考えております。</p>
委員	<p>昆虫展は夏休み期間の開催ということですが、入場者は大体どのくらいを見込んでいるのでしょうか。</p>
熊本博物館 教育審議員	<p>入場者は 8 月 16 日で 1 万人を達成しました。直近の 1 日の来館者数が昆虫展だけで 800～900 人ぐらいなので、開催期間中の入場者は 1 万 5 千人をこえるのではないかと思います。</p>

発言者	発言要旨
委員	<p>追憶の熊本展は熊本城の特別公開に合わせて開催するということが、熊本城事務所とも連携をしていただくと大変良いのではと思うのと、秋のお城まつりが10月5日から始まりますが、そういうイベントとも絡めれば更に来場者を見込めるのではないかと思いますので、そういった工夫をされてみると良いのではないかと思います。</p>
熊本博物館 教育審議員	<p>今コンベンション協会とお城まつりにあわせて野点を施設の外のところでできないか、ということを考えています。またこれまでは博物館と美術館でナイトミュージアムを単館でバラバラに実施していましたが、夕方お勤め帰りの方などもちょっと寄れるような、お祭りに合わせて両方を開けるような企画ができないか、ということをお話合ったところでございます。大変貴重なご意見ありがとうございました。</p>
議長	<p>これをもって本日の議事を終了する。</p>